

「安全なまちづくり」についてのアンケート結果

犯罪に遭うことなく、安全に安心して暮らすことができる社会の実現を目指し、県民の皆さんや関係機関等と連携して安全なまちづくりに関する施策に取り組んでいますが、防犯活動について、県民の皆さんがどういった意識を持っておられるかをお聞きし、今後の施策推進に役立てることを目的として、アンケート調査を実施しました。

★調査時期 : 平成28年8月

★対象者 : 県政モニター396人

★回答数 : 348人(回収率87.9%)

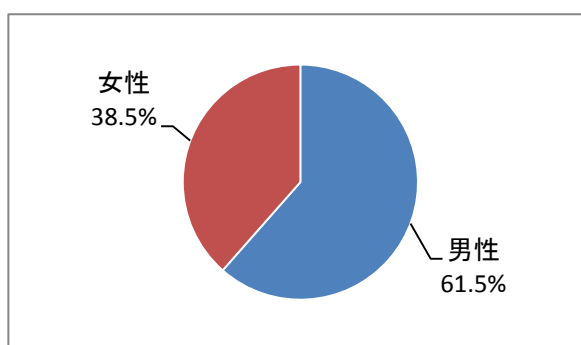
★担当課 : 県民生活部 県民活動生活課

(※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

【属性】

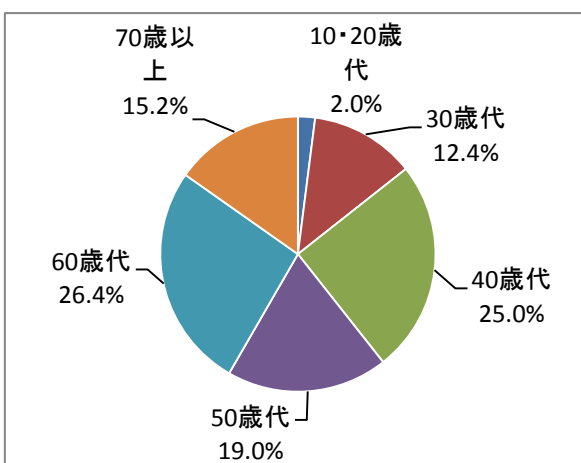
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	214	61.5
女性	134	38.5
合計	348	100.0



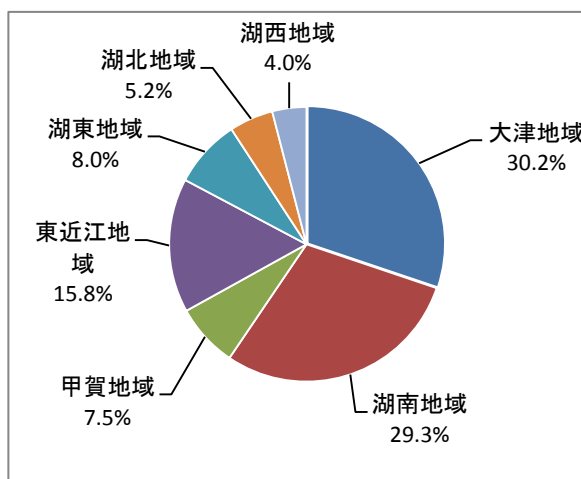
◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	7	2.0
30歳代	43	12.4
40歳代	87	25.0
50歳代	66	19.0
60歳代	92	26.4
70歳以上	53	15.2
合計	348	100.0



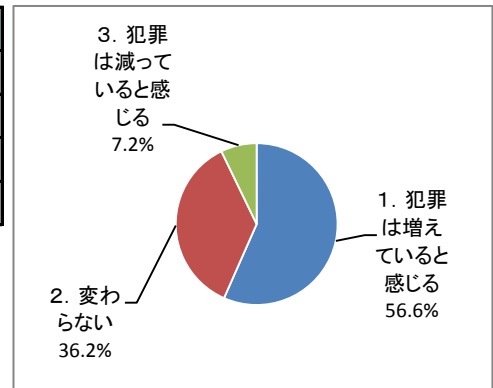
◆地域

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	105	30.2
湖南地域	102	29.3
甲賀地域	26	7.5
東近江地域	55	15.8
湖東地域	28	8.0
湖北地域	18	5.2
湖西地域	14	4.0
合計	348	100.0



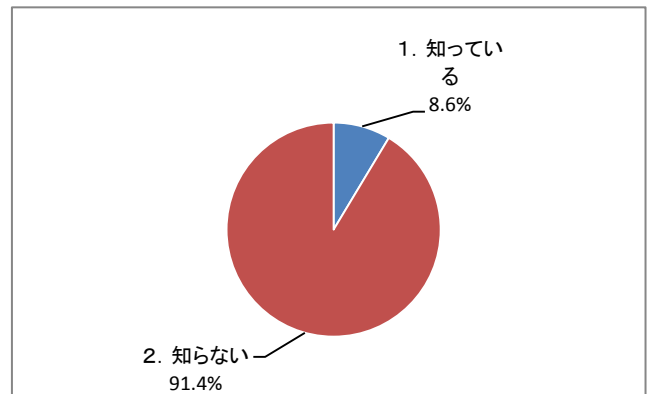
問1. 昨年(平成27年)1年間の滋賀県内における犯罪発生状況について、どう感じますか。(回答チェックは1つだけ n=348)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 犯罪は増えていると感じる	197	56.6
2. 変わらない	126	36.2
3. 犯罪は減っていると感じる	25	7.2
合計	348	100.0



問2. 昨年(平成27年)1年間で、滋賀県内でおおよそ何件犯罪が発生しているかご存知ですか。(回答チェックは1つだけ n=348)

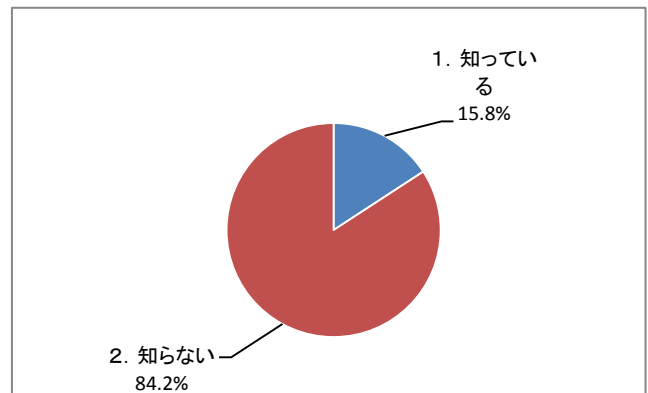
項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	30	8.6
2. 知らない	318	91.4
合計	348	100.0



問3. 「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり実践県民会議*(会長:滋賀県知事)において、毎年、年間の犯罪抑止目標を設定していることをご存知ですか。(回答チェックは1つだけ n=348)

*「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり実践県民会議とは、県・市町・県民・事業者等の92の機関・団体で構成されており、県民等が犯罪に遭うことなく、安全に安心して生き生きと暮らすことができる社会を実現するための取り組みを実践しています。

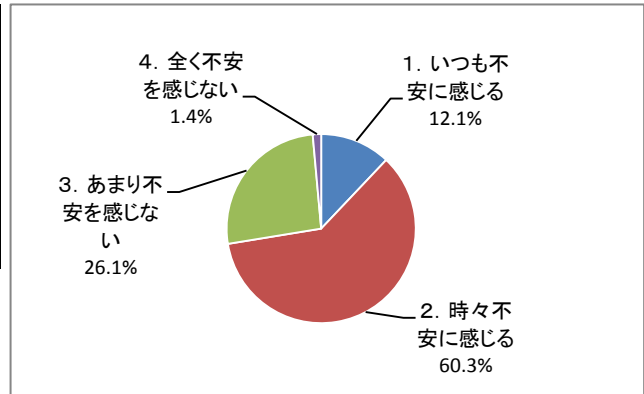
項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	55	15.8
2. 知らない	293	84.2
合計	348	100.0



問4. あなたは日常生活において、何らかの犯罪の被害に遭うのではないかと不安を感じますか。

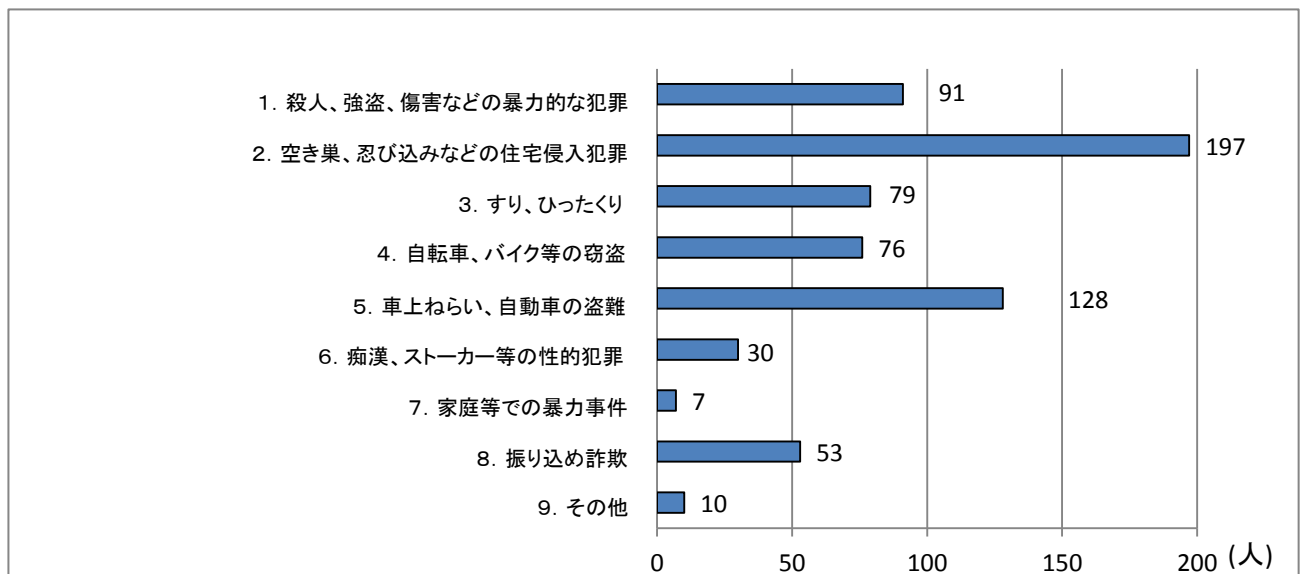
(回答チェックは1つだけ n=348)

項目	人数(人)	割合(%)
1. いつも不安を感じる	42	12.1
2. 時々不安を感じる	210	60.3
3. あまり不安を感じない	91	26.1
4. 全く不安を感じない	5	1.4
合計	348	100.0



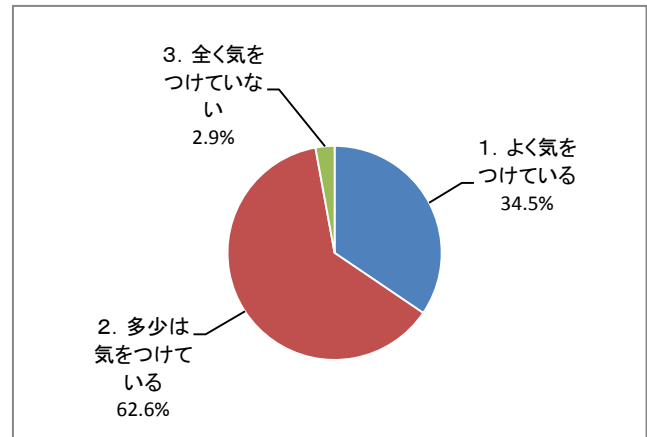
問5. 問4で「1. いつも不安を感じる」、「2. 時々不安を感じる」と回答された方にお尋ねします。あなたは、どのような種類の犯罪に遭うのではないかと不安を感じておられますか。(回答チェックは3つまで n=252)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 殺人、強盗、傷害などの暴力的な犯罪	91	36.1
2. 空き巣、忍び込みなどの住宅侵入犯罪	197	78.2
3. すり、ひったくり	79	31.3
4. 自転車、バイク等の窃盗	76	30.2
5. 車上ねらい、自動車の盗難	128	50.8
6. 痴漢、ストーカー等の性的犯罪	30	11.9
7. 家庭等での暴力事件	7	2.8
8. 振り込め詐欺	53	21.0
9. その他	10	4.0



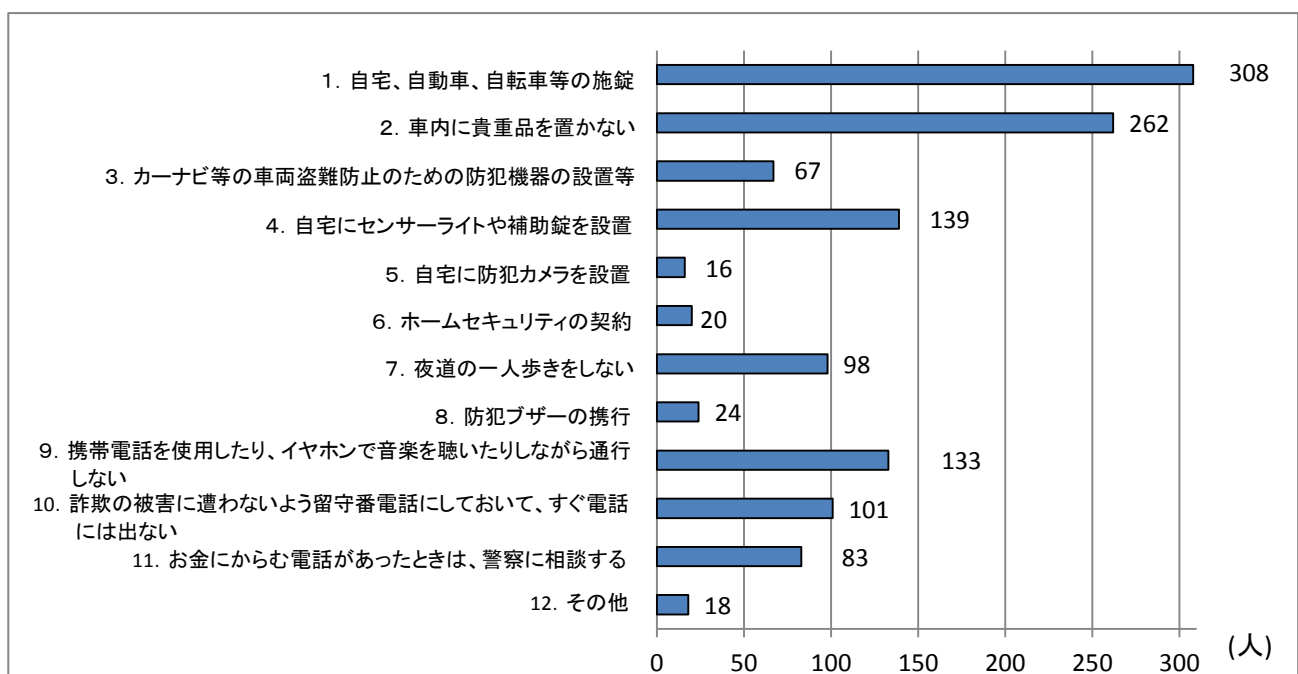
問6. 普段、あなたは家庭や身の回りで防犯に気をつけていますか。(回答チェックは1つだけ n=348)

項目	人数(人)	割合(%)
1. よく気をつけている	120	34.5
2. 多少は気をつけている	218	62.6
3. 全く気をつけていない	10	2.9
合計	348	100.0



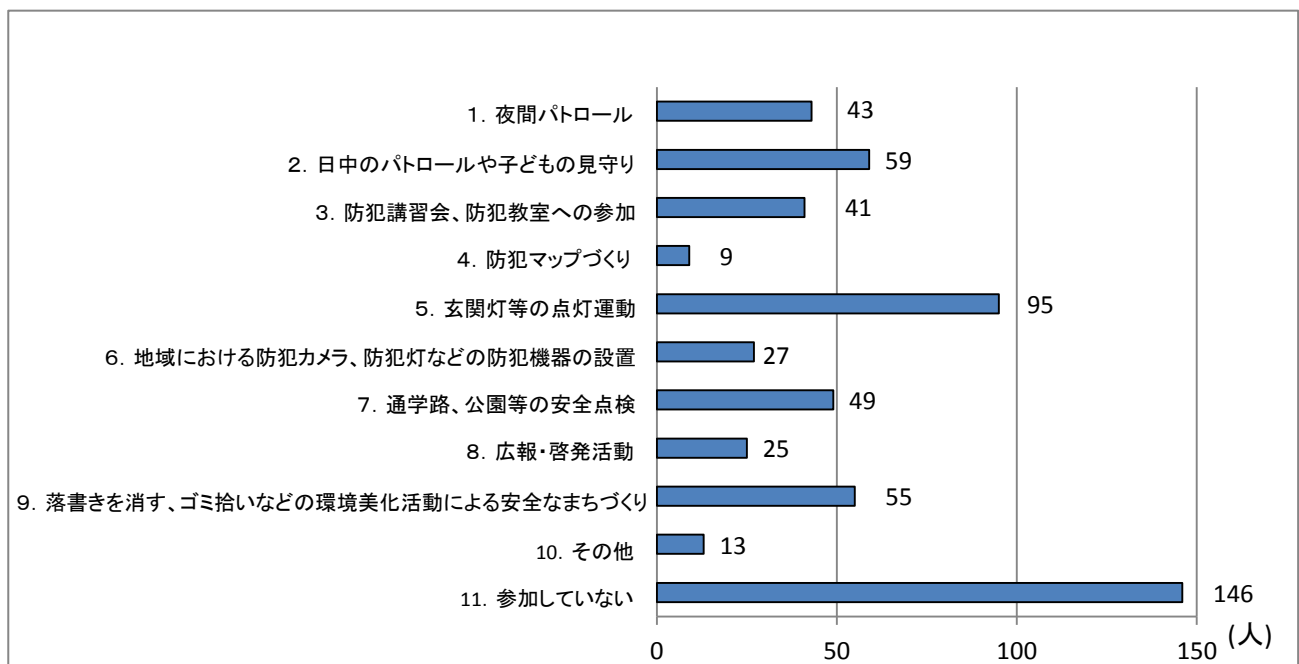
問7. 問6で「1. よく気をつけている」または「2. 多少は気をつけている」と回答された方にお聞きします。
あなたが、日常生活で防犯に気をつけていることはどんなことですか。(回答チェックはいくつでも n=338)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 自宅、自動車、自転車等の施錠	308	91.1
2. 車内に貴重品を置かない	262	77.5
3. カーナビ等の車両盗難防止のための防犯機器の設置等	67	19.8
4. 自宅にセンサーライトや補助錠を設置	139	41.1
5. 自宅に防犯カメラを設置	16	4.7
6. ホームセキュリティの契約	20	5.9
7. 夜道の一人歩きをしない	98	29.0
8. 防犯ブザーの携行	24	7.1
9. 携帯電話を使用したり、イヤホンで音楽を聴いたりしながら通行しない	133	39.3
10. 詐欺の被害に遭わないよう留守番電話にしておいて、すぐ電話には出ない	101	29.9
11. お金にからむ電話があったときは、警察に相談する	83	24.6
12. その他	18	5.3



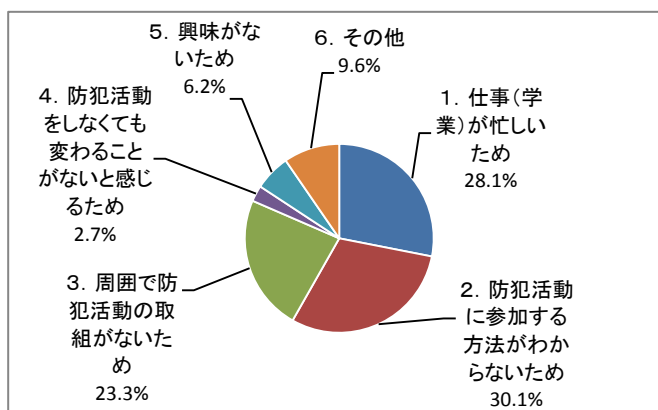
問8. あなたは、どのような防犯活動に参加したり取り組んだりしていますか。(回答チェックはいくつでも n=348)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 夜間パトロール	43	12.4
2. 日中のパトロールや子どもの見守り	59	17.0
3. 防犯講習会、防犯教室への参加	41	11.8
4. 防犯マップづくり	9	2.6
5. 玄関灯等の点灯運動	95	27.3
6. 地域における防犯カメラ、防犯灯などの防犯機器の設置	27	7.8
7. 通学路、公園等の安全点検	49	14.1
8. 広報・啓発活動	25	7.2
9. 落書きを消す、ゴミ拾いなどの環境美化活動による安全なまちづくり	55	15.8
10. その他	13	3.7
11. 参加していない	146	42.0



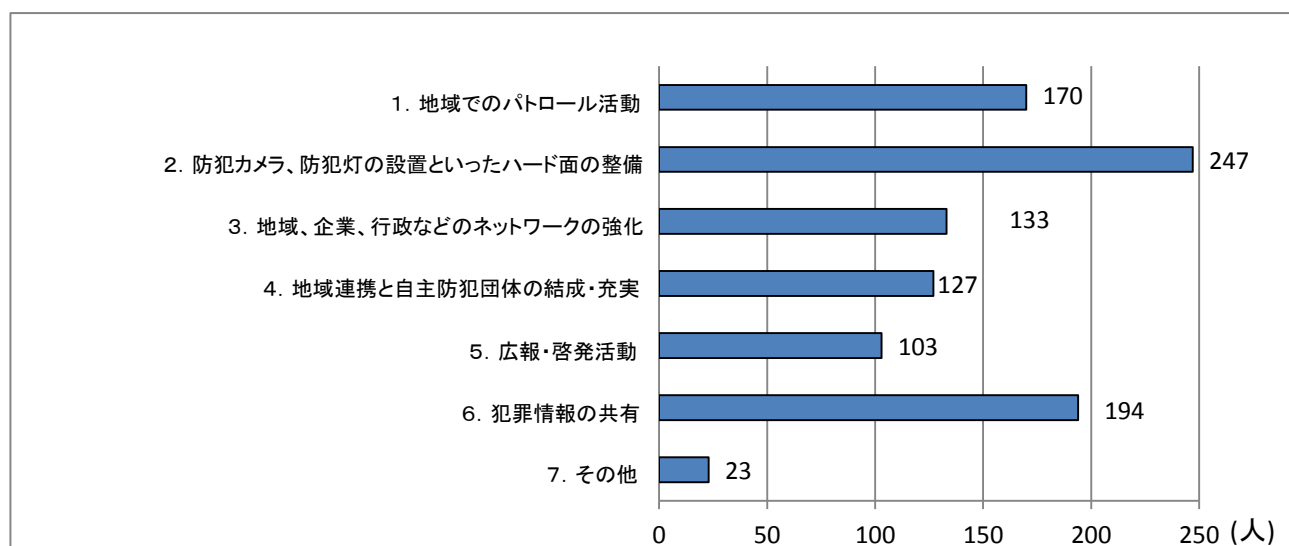
問9. 問8で「11. 参加していない」と回答された方にお尋ねします。あなたが防犯活動に参加していない理由は何ですか。(回答チェックは1つだけ n=146)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 仕事(学業)が忙しいため	41	28.1
2. 防犯活動に参加する方法がわからないため	44	30.1
3. 周囲で防犯活動の取組がないため	34	23.3
4. 防犯活動をしなくても変わることがないと感じるため	4	2.7
5. 興味がな いたため	9	6.2
6. その他	14	9.6
合計	146	100.0



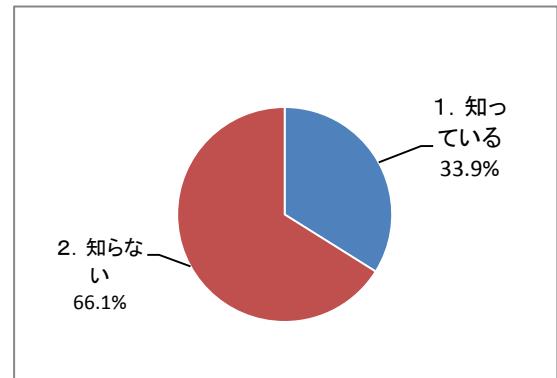
問10. 今後望まれる防犯対策の取り組みは、どのようなものですか。(回答チェックはいくつでも n=348)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 地域でのパトロール活動	170	48.9
2. 防犯カメラ、防犯灯の設置といったハード面の整備	247	71.0
3. 地域、企業、行政などのネットワークの強化	133	38.2
4. 地域連携と自主防犯団体の結成・充実	127	36.5
5. 広報・啓発活動	103	29.6
6. 犯罪情報の共有	194	55.7
7. その他	23	6.6



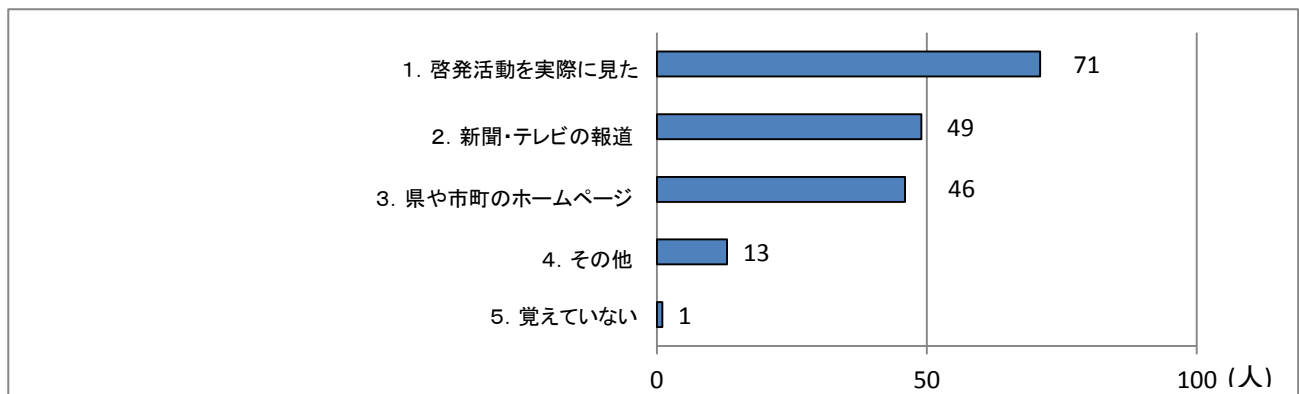
問11. 県民の皆さんが犯罪の被害に遭わないよう、県・市町・県民・事業者等が協働し、目に見える防犯啓発活動を街頭や大型店舗等において実施していますが、ご存知ですか。(回答チェックは1つだけ n=348)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	118	33.9
2. 知らない	230	66.1
合計	348	100.0



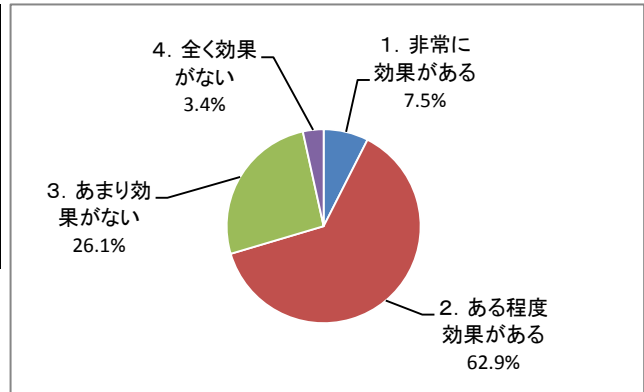
問12. 問11で「1. 知っている」と回答された方にお尋ねします。あなたは、防犯啓発活動を実施していることを何で知りましたか。(回答チェックはいくつでも n=118)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 啓発活動を実際に見た	71	60.2
2. 新聞・テレビの報道	49	41.5
3. 県や市町のホームページ	46	39.0
4. その他	13	11.0
5. 覚えていない	1	0.8



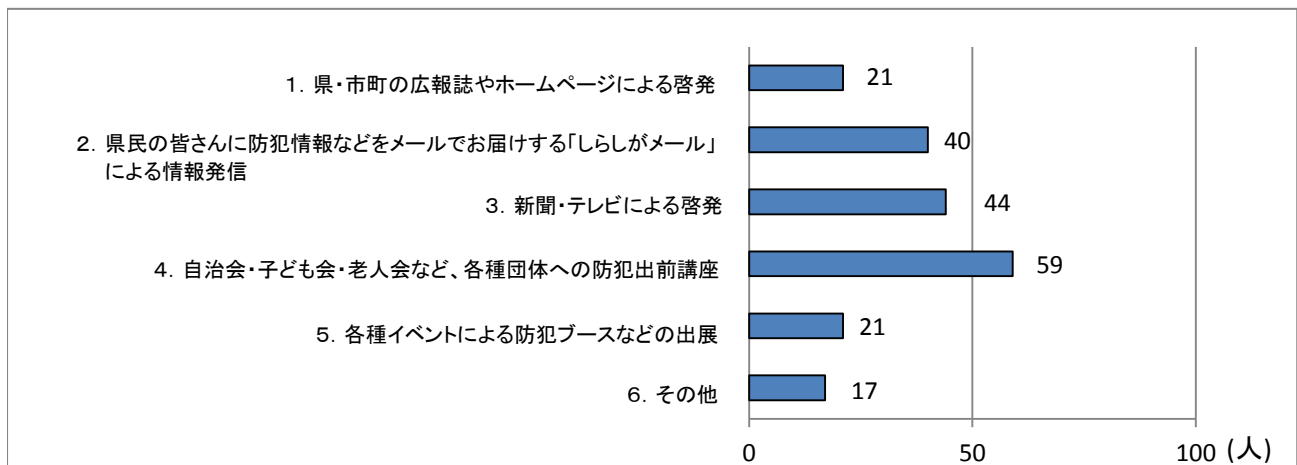
問13. 街頭や大型店舗等でのチラシ配布による啓発活動は、効果があると思いますか。(回答チェックは1つだけ n=348)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 非常に効果がある	26	7.5
2. ある程度効果がある	219	62.9
3. あまり効果がない	91	26.1
4. 全く効果がない	12	3.4
合計	348	100.0



問14. 問13で「3. あまり効果がない」、「4. 全く効果がない」と回答された方にお尋ねします。あなたは、どのような啓発であれば効果があると思われますか。(回答チェックはいくつでも n=103)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 県・市町の広報誌やホームページによる啓発	21	20.4
2. 県民の皆さんに防犯情報などをメールでお届けする「しらがメール」による情報発信	40	38.8
3. 新聞・テレビによる啓発	44	42.7
4. 自治会・子ども会・老人会など、各種団体への防犯出前講座	59	57.3
5. 各種イベントによる防犯ブースなどの出展	21	20.4
6. その他	17	16.5



問15. 安全なまちづくりに関して、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

◎特殊詐欺について

- ・一向に無くならない、振り込み詐欺対策を徹底し、詐欺の胴元の検挙をお願いします。
- ・毎日の新聞報道で、特殊詐欺や振り込み詐欺等のニュースを見る事が多く、県民の防犯意識の少なさに驚くことが多いです。私たちは、日常高齢者の人に「うまい話には気を付けろ」といって呼びかけています。性善説で育った人が多いのかも知れませんが、被害にあわれる方が多いようです。
- ・高齢の一人生活者宅を定期的に訪問するなど、官民が一体となり声かけ運動を促進する。
- ・あれだけテレビや新聞で、振り込み詐欺が報道されているにも関わらず、義母が振り込み詐欺に引っ掛かりかけました。地域と関わりを持たない年寄りには、引っ掛かりやすいと思ったが、本人が、地域との関わりを拒否している場合、どうしようもない

◎子ども・女性対象犯罪について

- ・子どもに対する犯罪をニュースで知るたびに、子どもの登下校や放課後の外出の際、心配になる。地域の人の見守りや、不審者情報のメール配信など、さまざまな取り組みがあり、とても助かっている。
- ・最近、不審者情報をよく目にします。来年から小学校に行く予定の子供がいるので、登下校がとても心配です。地域で見守り活動をして下さっていますが、それだけでは足りないように思います。
- ・保育園、介護施設など防犯能力の弱い人の集まる施設での安全管理、不審者の立ち入りの管理などの弱さを感じます。

◎防犯カメラや防犯灯などの整備について

- ・イギリスのロンドンでは、防犯カメラ増設が犯罪発生の抑制に効果があったとTVで見ました。まずは行政によるハード面での対策が必要と考えます。
- ・防犯カメラを安心カメラと称するショッピングセンターがあり、良い名称と思う。安心カメラを市中に多く設置することが望まれる。
- ・人影がない場所には目立つ監視カメラを設置し、いつも見られていることを意識させる。
- ・防犯灯が無駄にたくさんついている道路と少ない道路の差が激しい。
- ・公園の樹木が大きくなりすぎていて、見通しが悪いところが多い。道路の歩道の白線が消えている場所が多く、まちづくりに取り組んでいない印象を与えている。整った環境では犯罪も起きにくいと思う。

◎自助・共助の取組について

- ・顔を見て挨拶しあう環境を整えれば、犯罪の予防になるのではないかと思います。
- ・地域がお互い助け合うという雰囲気作りが大切。
- ・隣近所の関係が希薄になってきた。名前も知らない、話す機会もない。個人情報と言って名前を公開しないなど。住民で防犯をある程度は防げるのでは？近所同士のつながりも大切だと思う。
- ・町の皆が、普段から交流をもっていると犯罪も減るのでは無いかと思います。
- ・地域で取り組むことが重要だと考える。地域で見知らぬ人がいた時の対処等地域ネットワークを密にしていくことが必要です。行政はそのサポートや情報提供をすることがポイントです。
- ・不審者にたいしての声かけ、あいさつでいい！声を掛けられる事を一番いやがってる。
- ・昔と違い、例えば公園などで遊ぶこども達を見ているだけで不審者と思われるやりにくい困った時代になりました。それが逆に無関心やノータッチを助長している部分もあります。そのためにも地域住民啓蒙や広報による協力体制作りが必要と思います。
- ・向こう三軒両隣！の精神の日頃の身近な地位での連携。が一番と思います。

◎警察の取組について

- ・警察のパトカーによるパトロールを常時、もっと頻繁に実施を。容疑者検挙・逮捕は最も大事なことが、警察での犯罪予防対策への対応を強化すること。
- ・洗濯物を干して、下着泥棒にあいました。警察に通報しても、「家の中に干して下さい」と、マイナスの指導しかありませんでした。犯人を逮捕する気が感じられませんでした。
- ・昔に比べて今は、普段巡回中のパトカーを見ることが少なくなったように思う。
- ・警察官も夜間は駐在所に常駐していないので、駐在所に寝泊りするなど、もっと地域と警察官が蜜になれば犯罪はすくなくと思う。警察官も、公務員対応をしている方が多く、親身さが感じられないので、昔みたいに、町のおまわりさん、的な感じで、自転車で見回るなどして、安全感と親近感を出して欲しい。
- ・あたりが暗くなってからの外出は、前に比べてぶっそうだなと思うことが多くなりました。騒音や危険な運転で走り回るバイクや車におびえる。
- ・夜間、駅周辺で若者がたむろしており通行にさえ不安を感じます。また、深夜暴走族が騒音を鳴らし走り回っています。以前は警察もパトカーで追尾していましたが最近では放置しているように思います。大型店舗では、フードコート等で不良が騒ぎ、万引きを見かけることも多々あります。
- ・駅周辺の治安の悪化を感じています。一度、小学生と高校生が通り魔に殴られたのを見て警察に通報しましたが、防犯カメラは店舗のものしかなく、駅周辺の防犯カメラがない事実には驚きました。駅に交番はありませんが・・・夜間に交番の前に警察官の方が立っておられるだけでも違うと思います。金曜の夜等、商店街は本当にひどいです。塾通いの子供達が心配です。夜間のパトロール等もっと増やしてほしい。

◎自主防犯活動について

- ・町内で、夜を含めウォーキングしている方が多い。ある意味では歩いてるだけでも防犯の手助けになると思う。地道な活動が大切。年に何度か防犯協会の方が回るのも良いかもしれないが。
- ・防災活動運動のように、より地域に密着した活動を展開することが要。
- ・当たり前のことであるが、安全なまちづくりは意識があっても1人では到底できない問題であり、やはり地域の自治体が連帯して問題意識を常に共有し、常に自治会員にその問題の重大性を啓蒙、周知することにより初めて実現するものと考えます。
- ・子供に対して危害を加えようとしている犯人には、地域のパトロールや目が大変有効と聞いたことがあります。
- ・私の住んでいる学区では、子どもが小学生のころから、青パトさんが休みなくパトロールをして下さっており、とても安心して子どもを学校に行かせていました。子どもも今では高校生になり、他の学区まで通学していますが、その学区は、青パトによるパトロールもなく、夕方はひっそりとしているそうです。青パトさんを含む自主防犯活動が、滋賀県全体であたりまえのようになってほしいです。
- ・防犯活動は重要で これを担うのが学区連合自治会や各自治会での地道な活動であることは認識し、それらにはできる限り参加している。
- ・自治会で独自に月に1回防犯パトロールを開始した。また、犬の散歩時等にも、防犯パトロールベストを極力身に着けて行くようにしている。そうした地域の防犯活動についての、補助を充実して欲しい。

◎広報啓発について

- ・県内、市内でどんな犯罪が起こったか、確認するようにしている。同じような被害に逢わないように。啓蒙活動に力を入れていただくことを望みます。
- ・交通安全運動と同じような感じで、毎年、春夏秋冬の一定期間に自治会を中心に施設や道路近くにのぼり旗で一般人に周知してみてもどうか。
- ・犯罪を起こさせないように犯罪を絶対に許さない意識を確立させてください。協力します。
- ・実際の犯罪に遭った人々の体験談を広報に掲載すると効果があるのではないのでしょうか？その被害者が犯罪に遭う前の心理状態・行動した内容などを載せれば良いと思います。例えば・・・
何か心配事があり、ボンヤリして歩いていた
車道側の肩にショルダーバッグを掛けて歩いていた など
どういった場合に犯罪に遭ったのか、被害者はどのような行動を取ったのか、という具体的な実体験は他の人々の参考になる場合もあるからです。
- ・どのような活動が県・市・町で行われているかを殆ど知らないのも、もっともっとPRして頂き意識向上させる努力をお願いしたい。

◎犯罪情報の提供について

- ・身近なところで犯罪が起きたことを知ると、誰でも防犯意識が高くなると思うので、振り込め詐欺や空き巣、ひったくりなどの情報を、SNSや新聞、テレビなどを使ってきめ細かく知らせる仕組みがあるといい。
- ・被害に合わないためには情報を得ることも大事で、新聞やテレビニュースなどからも情報は得られますが、身近で起こった犯罪などの情報をいち早く得られる「しらせる滋賀情報サービス」のメールはとても役に立っています。
- ・地域でどのような犯罪が多発しているかを知って、一人ひとりが注意し、周りの人を心配してあげられようになるとよいと思います。
- ・各警察署エリア単位での犯罪情報をより回数を増やして広報してもらいたい。(新聞折込等で)情報を目にすることで、絶えず繰り返し知ること、常に身の回りの犯罪を自分に対する脅威であることを自覚し、即座の対応に備えることができる。
- ・市から配信される不審、犯罪、防犯情報等は、大変役に立っている。

◎防犯意識について

- ・日頃のチェックが、肝要かと思う。最近、田舎でも不審者が出没するので、施錠、暗がりへの警戒など、個人レベルでも気を付けないといけないと感じる。
- ・テレビなどで恐ろしい事件など報道されていますが、他人事だと思わず、防犯意識を高めたいと思う。
- ・1人ひとりの心がけが大切だと思います。
- ・明確な犯罪に至らなくても、例えば路上でのたばこのポイ捨て、駅の近辺で夜間に集い、飲食物のポイ捨てなど、やめてほしい行為は常日頃から目にします。防犯と大上段に構えなくても、このような行為を見逃さない、啓発する運動が必要だと思います。
- ・家の施錠、自転車もカギをかける、ゴミはゴミ箱へ当たり前のことを個々で行えば、行政にそんなに頼らず安全なまちづくりが出来ると思います。まずは、マナーを守り、きれいなまちづくりから・・・。
- ・団地などでは、近隣の顔もわからない、トラブルにまきこまれることもあるので住むところの治安も一人一人が自らチェックするべきかと思います。地域の取り組みには積極的に参加することも守るための教訓かもしれませんね。

◎その他

- ・滋賀県だけではなく、全国的に重犯罪は増えていると思います。以前は、テレビや新聞の報道でも、凶悪な犯罪や虐待などの事件があると印象に残っていましたが、今は多すぎて、どの事件がどうなったか次々と事件がありわからなくなってしまう。
- ・最近では、全く通常では理解できないような事件や事故が突発的に、非常に頻繁に発生していて、怖い時代になってきていると思う。信号待ちしているところに車がつっこんできたり、全く面識のない人を突然凶器で襲うといったような、「どう防いだらよいか、どう予防したらいいのか」わからないような事件が多発している。凶悪犯が服役しても、結構早く刑務所から出所することができて、再犯を犯す率が高いとかで、いつかどこかで自分がそういう方とすれ違っているのかと思うと、怖い気がする。
- ・犯罪ゼロの実現を是非ともよろしく願います。安心して暮らせるまちにはひとが集まります。
- ・日常的に、犯罪とは縁遠い感覚でいますが、良く思い返してみると、自転車盗難、バイク盗難、置き引きと、犯罪にあっていることに愕然としました。安全、安心な街づくりに、協力していきたいと思います。